



「地域」は世界中にある！
あなたはどの視点から地域を学びますか？



オープンキャンパス実施しました！

8月6日、青森大学では今年度3度目のオープンキャンパスを開催しました。社会学部では清川繁人学部長(コミュニティ創生コース)が「ねぶた祭はいつ始まった?」、宮川愛子准教授(社会福祉コース)が「ユニバーサルデザインとは～「誰かにやさしい」から「みんなにやさしい」へ～」のテーマに基づいて模擬授業を行いました。「ねぶた祭」は地域文化としてもまた観光資源としても重要な祭りですが、その発祥などについて清川先生から詳しく講義いただきました。また、「ユニバーサルデザイン」という言葉は、日常的によく使われるようになりましたが、その意味や具体的にどのように導入されているのか、写真なども使いながら宮川先生からわかりやすく講義いただきました。



社会福祉コース 授業紹介

「ソーシャルワーク実習・ソーシャルワーク実習指導」

社会福祉コースでは社会福祉の国家資格である「社会福祉士」の受験資格取得を目指し、3年生が社会福祉の現場で180時間以上の実習を行っています(2021年度入学生からは240時間以上)。実習先は学生の興味・関心に応じて高齢者福祉施設、障害児・者福祉施設、児童福祉施設、社会福祉協議会等多岐にわたっています。

今年の実習生には、実習期間中に豪雨被害の被災地に赴き、洪水後の、がれき撤去や地域住民の聞き取り調査を経験した学生もいました。また、別な学生は障害児通所事業での実習で、障害児との多様なコミュニケーションの方法を経験し、学びました。このような実習経験をグループでの話し合いなどを通じて深めていくことになります。



社会学部でのゼミ活動の一部をご紹介します！

青森大学 社会学部ゼミ活動紹介

Faculty of Sociology

02

柏谷 至 ゼミ

社会学部柏谷ゼミは「森林資源を活用した地域活性化」をテーマとしています。五所川原市七和地区をフィールドに、地元のまちづくり団体などと協力しながら、りんご園などで不要になった木を伐採し薪に加工して販売しています。地元の森林資源を燃料として活用することは、温室効果ガスの排出削減や里山の維持管理、新たな生業づくりなどの意義があります。学生たちは、地域づくりの現場での経験を通じて自分なりの研究テーマを設定し、卒業論文を執筆します。



青森県庁に見事合格！

コロナ禍にあっても内定率は安定した結果を堅持！

社会学部の内定状況は教職員が一丸となってサポートし、毎年95%以上の内定率を達成しています。最近のコロナ禍にあってもオンラインにて企業説明会や面接が増えていますが、こうした多難な状況にあっても社会学部の学生は変化にうまく対応し、その波を克服して内定を勝ち取っています。

最近3年間の主な就職内定先

- 東日本旅客鉄道(株) ○日本郵便株式会社 ○太子食品工業株式会社 ○津軽海峡フェリー株式会社 ○株式会社青森銀行 ○センコー株式会社
- 青森朝日放送株式会社 ○吉田産業株式会社 ○トヨタモビリティパーツ(株) ○株式会社銭高組 ○株式会社一条工務店 ○トヨタ自動車東日本(株)
- 株式会社マツダアンフィニ青森 ○株式会社バイタルネット ○青森県庁(行政職) ○埼玉県庁(福祉職) ○横浜町役場 ○刑務官
- 社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団 ○社会福祉法人青森県社会福祉協議会 ○社会福祉法人宏人会 ○社会福祉法人平館福祉会
- 医療法人雄心会(青森新都市病院) ○医療法人松田会 ○社会福祉法人今金町社会福祉協議会 他多数